

市議会議員小池みよ子の **ひたすら鹿嶋のために**

# 活動報告

Vol.16

小池みよ子  
後援会会報 vol.16発行  
小池みよ子後援会  
〒314-0034 鹿嶋市鉢形1493-2  
TEL 0299-83-5252  
携帯電話: 090-1690-0136

所属委員会 総務生活委員会委員長/議会運営委員会/議会改革検討協議会/鹿行広域事務組合副委員長

議会報告 平成27年度12月市議会 一般質問

議員として、私の思いを込めた一般質問です。

エルくん  
益々元気です

27年度は、選挙で幕を開け、あっという間の1年でした。皆様のお陰様で3期目の市議を務めさせていただいております。市政の発展と市民の皆様のお役に立てるように頑張っております。今後とも、ご意見、ご指導をお願いいたします。

さて、今回の質問は、私が長年敬老会に関わってきて、これからの高齢化社会に向けて思うこと、また、高齢者のゴミ出し支援に向けての対策、そして市内に蔓延している桜てんぐ巣病対策等々、このままで良いのかの疑問に従って質問させていただきました。敬老会問題などは反論も多いかと思いますが、鹿嶋の未来のためにも共に考えていただけたらと思います。「住んで良かった」「住むなら鹿嶋」の実現に向けて28年度も努力していきます。

皆様の思いがどの程度反映されているか読んでみてください。ご意見もお寄せください。

## 質問1、高齢福祉について

### 敬老会の在り方について

Q1-1 今年度の現状について・・・課題や問題点は？

出席者が年々減って、今年ついに40%を切ってしまった。25.8%の地区も出ている現在、このまま続けていってよいのだろうか。喜寿や傘寿など節目の年で祝うという方法もあるのでは。

A1-1 健康福祉部長

27年度は1歳上げて73歳以上としたため、出席率の低下に繋がったものと考えております。対象年齢を引き上げれば出席率はさらに下がるであろうことについては、課題として捉えております。

Q1-2 年齢が1歳上がったので出席率が下がったと言われましたが、もう既に30%を割っている地区が軒並みあるわけですから、おやみに年齢が上がったから、下がったから、この数字ということには当たらないのではないかと思います。もう一度その辺のところ答弁をお願いします。

A1-2 健康福祉部長

高齢化率の関係ではなく72歳の方々が対象から外れたために、全体の出席率としては下がったと、そのように認識をしているということでございます。

Q1-3 今後の展望は・・・このままで良いのか

質問することと答弁がちょっとかみ合わないような気がするのですが、以前から実行委員をしており、市はどのようにこの敬老会を持っていくのが、このままでいけば来年も下がり続けるかと思われまます。お考えをお聞かせください。

A1-3 錦織市長

車座懇談会でもご意見をいただいております。今後ますます進む超高齢化社会に対応するためには、地域コミュニティの構築が何より大切であり、私が以前から推し進めている助け合いの互助の精神が地域づくりの力になるものと認識しております。地域において高齢者を温かく見守り、支えていくまちづくりの方針には変わりはありませんが、敬老会の実施方法については総合的に勘案し、見直しが必要な時期に来ていると私は判断しております。現在、各地区実行委員会の皆さんにアンケート調査を行っておりますが、今後はその結果を参考にしながら改善してまいりたいと考えております。

**要望** 職員の労苦を考えると、本当にこの辺で真剣に『心からお祝いのできる体制』を整えていくべきかなと思ひ、毎回この「敬老会おかしいよね」と思ひながら提案と質問をさせていただいております。よろしくご検討をお願いします。

### 高齢者のごみ出し問題について

Q2-1 高齢者が元気に住み続けるためにはごみの個別回収を考える時期では

福祉のほうの観点から高齢者のごみ出しということで提案させていただきます。鉢形地区では市が始めないのならば、地域でボランティアを組織し、4月から申し込みのあった独居高齢者のごみ出し困難なお宅のごみ収集を始めました。週一回、直接お宅に訪問して、ごみを集め衛生センターへ搬入しています。超高齢化社会への対応の一つとして高齢者のごみ出し支援策を構築してほしいと提案いたします。以前は検討しますという答弁をいただいたのですが、

A2-1 錦織市長

高齢化が急激に進行する中で、介助を必要とする高齢者の日常生活を地域でどう支えていくかが大きな行政課題となっております。全ての高齢者を地域全体で支える地域包括ケアシステムの構築に向けて、自助、共助、公助の3つがバランスよくかみ合い、連携、協働できるコミュニティづくりに努めてまいります。

↓ ウラ面に続きます。





## A<sub>2-1</sub> 健康福祉部長

現在、市ではこの仕組みの構築に向けた準備を進めており、今年度につきまして鹿嶋市生活支援・介護予防サービス提供者主体等協議会を設立し、1月に会議を開催する予定になっており、支援の必要な高齢者のごみ出しにつきまして、家事援助の課題の一つとして地域で一体的に支援できるシステムを構築していることになると考えております。

Q<sub>2-2</sub> 横浜市では市役所の職員が週1回ひとり暮らしのお宅を回ってごみ収集をして、ごみが出ていなければ声をかける安否確認のシステムも出来ております。環境課の職員などは先進地の事例などもたくさんつかんでいると思います。市で出来ないという事であれば、ごみ回収のプログラムをきちんとつくって市民に提案してください。「そんな地域でやればいいでしょう」なんて、そんな問題ではないです。地域でやれることには限界があります。続けられることと続けられないこと、この辺で行政が手をかすべきだと私は思うので、ここであえて提案させていただきました。もう一度、どのように考えているのか答弁をお願いします。

## A<sub>2-2</sub> 健康福祉部長

新しい地域支援事業の先駆けとして、鉢形地区で行われているようなごみ出し支援活動を広げていただければと考えております。システムとして成立するような段階になれば、まるっきりのボランティアということではなくて、一つの市町村事業としての費用負担が考えられてくると思います。

要望 このごみ出し支援は、私が最初に言ったではないですか。地域づくりは、そんなに生易しくできるものではないのです。だから、そういうきちっとしたプログラムを提案して地域に落して行ってください。地域のモラルが、地域の絆がなんて言ったって絵に描いた餅になってしまうので、高齢者をどうやって支えていくか、快適に過ごせる鹿嶋をどうつくっていくかを市全体で考えていくことを提案します。

## 質問2、植栽の管理について

Q<sub>1</sub> 市内に蔓延している桜てんぐ巢病をどう考えているのか

何といっても桜てんぐ巢病は伝染病です。一刻も早い対策をお願いしたいものですが、市のお考えをお聞かせください。

A<sub>1</sub> 都市整備部長兼水道事業都市整備部長

桜にとっては致命的な病気です。公園、小中学校等担当部署がそれぞれ分かれていて、一括にすすめるのは難しいと認識しております。緑化推進の観点から、広報「かしま」などを活用しながら市民の皆様にごみ出し支援に関する情報提供を行ってまいりたいと考えております。

要望 予算は全部市から出ると言いながら、バラバラにやったのでは効果がないのです。一括で進めるよう対策をとっていただきたい。今やっておかないと鹿嶋の桜があぶないと警告しておきます。



Q<sub>2</sub> 市内路側帯の植栽管理について

議員の視察で各所へ行きますが、鹿嶋のように草だらけの植え込みはありません。県道であれば県の仕事だと言いますが、たとえば鹿嶋にサッカーを見に来る人たちが草だらけの中央分離帯や路側帯をみてどう思うでしょうか。ここは県道だから、ここは国道だからという理解を持つでしょうか。春に行われる奉仕作業、植え込みの中の草抜きをしていただくのですが、勤労文化会館の前までで、力尽きるのか予算尽きるのか、その先はぼったらかしている現状をどう思いますか。感想をお聞かせください。

A<sub>2</sub> 都市整備部長兼水道事業都市整備部長

年に一回植樹帯の草刈、低木の剪定、伐採などの管理を行い、草刈を主に行う囑託職員により対応している状況ですが、時期的に集中することもあり、発注時期のタイミングをはかるなど、何らかの対応策を検討しなければと考えているところです。

要望 市の管理、県の管理と言う答弁がありました。市民にとって、そしてよそから訪れるお客様にとって、鹿嶋市に入れば全て鹿嶋市の管理と私も思っています。県の管理であれば県の方に強く申し入れをしていただき適正な管理をお願いします。

Q<sub>3</sub> 124号バイパスの草花の管理について

今年も花いっぱい運動と称して一斉にパンジーの花が植えられました。あと何カ月経つと各団体の管理に差が出て、植えた後の草抜きもなく、パンジーの姿が見えなくなってしまいます。市としてはどういう対策を今までとられたのかお聞かせください。

A<sub>3</sub> 都市整備部長兼水道事業都市整備部長

年2回「ふれあい大通りをきれいにする会」の役員会を開催し、花植え日の確認とあわせて花植え後の草抜きの日程を決め、各団体に周知をし、状況を十分確認したうえで改めて訪問を含めて管理をお願いするなどの対応を検討してまいります。

要望 あくまでもボランティアの方に協力してもらおうという事で難しいところもあるのでしょうかけれども、「小さな花がおもてなし」ということで、綺麗に咲いていたら気持ちがいいですね。いろいろなアイデアが出てくると思います。知恵を出し合ってきれいな花壇を管理して、訪れる人の目を楽しませていただけたらと思います。

Q<sub>4</sub> 目に余る私有地の雑草管理について

これから真冬にかけて近所、隣に住む人は不安でいっぱいだと思うので、雑草管理についてどのように市は指導しているのかお聞かせください。

A<sub>4</sub> 市民生活部長

どういった形でこういう雑草の繁茂した空地进行に管理できるかは、これからの研究課題で、たとえば条例に制定した方がいいのか、皆さんのモラルに頼った方がいいのか、全体的に判断して、なるべく早い時期にそういう空地がなくなるような努力をしていきたいと思っています。



要望 鹿嶋市の植栽管理、大変だと思います。緑が多い反面、やっぱりそれだけ守らなければならないこともたくさんあります。どうぞ日本の心の象徴である桜の木、これからもみんなで守っていただきたいと思っています。「住んで良かった鹿嶋、住むなら鹿嶋」、本当にきれいな桜が見られるような鹿嶋を願っております。